

# グッドステージレポート

Good  
Stage  
投資型年金  
グッドステージ  
新変額個人年金保険

2025年1月発行

最終ページには「ご負担いただく費用について」、「投資リスクについて」等が記載されておりますので、必ずご確認ください。



東京海上日動あんしん生命

## ご契約者さまへ

当資料は、ご契約者さまに、各特別勘定の運用状況、資産の内訳等をお知らせするための資料です。当資料には「ご契約状況のお知らせ」とは異なり、個々のご契約の運用状況は掲載されておりませんので、ご了承ください。

### ■積立金の移転（スイッチング）について

- ・積立金の移転（スイッチング）は、すべての特別勘定の積立金をご指定の特別勘定の割合に再配分するしくみです（一部の特別勘定の種類や割合を変更するものではありません）。
- ・複数の特別勘定を組み合わせることもできます。1%単位で、合計が100%になるようにご指定ください。

#### ご注意

リバランス（定期的に積立金の配分を自動調整する機能）の指定割合を変更いただくには、「リバランスの設定・解除」のお手続きも必要です。

### ■積立金の移転（スイッチング）の実行日について

「ユニットプライスの評価基準日」が異なる特別勘定間の積立金の移転（スイッチング）では、移転手続きする契約の移転前および移転後のすべての特別勘定のうち、最も遅い日が適用されますのでご注意ください。

種類	特別勘定の名称	ユニットプライスの評価基準日
株式型	日本株式（A）	会社受付日
	日本株式（B）	
	日本株式（D）	
債券型	世界株式（A）	会社受付日の翌営業日
	世界債券（A）	
総合型	世界バランス（A）	
金融市場型	マネー（A）	会社受付日

### ■積立金の移転（スイッチング）のお手続きの方法について

積立金の移転（スイッチング）はインターネットサービス「ご契約者さま専用ページ」によるお手続きが可能です。また、書面（請求書）によるお手続きも可能です。

#### ●インターネットサービス「ご契約者さま専用ページ」：<https://fl.tmn-anshin.co.jp/>

当社ホームページの「変額保険・変額年金保険情報サイト」内の「ご契約者さま専用ページ」よりお手続きください。

お手続きが可能な時間：9：00～21：00

会社受付日：お手続きいただく時間帯に応じて下表の日を会社受付日として取り扱います。

当社が受付を完了した時刻	会社受付日
平日 15：29まで <sup>*1</sup> に受付を完了した場合	当日を受付日とします。
平日 15：30以降 <sup>*2</sup> に受付を完了した場合	翌営業日を受付日とします。

（注）土曜、日曜、祝日および年末年始は、翌営業日を会社受付日として取り扱います。

※1 2024年11月5日より、東京証券取引所の取引時間延長に伴い、14：59⇒15：29に変更になりました。

※2 ※1同様の理由から、15：00⇒15：30に変更になりました。

「ご契約者さま専用ページ」は、当社ホームページからご登録（※）いただけます。

ご登録後、ログインに必要なID・仮パスワードを簡易書留でお送りします。

<https://fl.tmn-anshin.co.jp/>

（※）ご契約者さまが法人または未成年の場合は、書面（請求書）によるお手続きが必要です。

#### ●書面（請求書）によるお手続き

巻末に記載のフリーダイヤルへご連絡くださいますようお願い申し上げます。

# 目次

種類	特別勘定の名称	掲載ページ
株式型	<b>日本株式(A)</b> ■ 投資対象となる投資信託：フィデリティ・日本成長株・ファンドVA2 <input type="checkbox"/> 運用会社：フィデリティ投信 <input type="checkbox"/> 資産運用関係費用(年率) <sup>*1</sup> ：1.353%(税込)程度 <input type="checkbox"/> 円建/残高約138.7億円	3p
株式型	<b>日本株式(B)</b> ■ 投資対象となる投資信託：ダイワ・バリュー株・オープンVA(底力VA) <input type="checkbox"/> 運用会社：大和アセットマネジメント <input type="checkbox"/> 資産運用関係費用(年率) <sup>*1</sup> ：1.309%(税込)程度 <input type="checkbox"/> 円建/残高約16.6億円	4p
株式型	<b>日本株式(D)</b> ■ 投資対象となる投資信託：ダイワ・ジャパン・オープンVA(D.J.オープンVA) <input type="checkbox"/> 運用会社：大和アセットマネジメント <input type="checkbox"/> 資産運用関係費用(年率) <sup>*1</sup> ：1.309%(税込)程度 <input type="checkbox"/> 円建/残高約3億円	5p
株式型	<b>世界株式(A)</b> ■ 投資対象となる投資信託：大和住銀／T.ロウ・プライス外国株式ファンドVA <input type="checkbox"/> 運用会社：三井住友DSアセットマネジメント <input type="checkbox"/> 投資顧問：ティー・ロウ・プライス・アソシエイツ・インク <input type="checkbox"/> 資産運用関係費用(年率) <sup>*1</sup> ：1.485%(税込)程度 <input type="checkbox"/> 円建/残高約54億円	6p
債券型	<b>世界債券(A)</b> ■ 投資対象となる投資信託：JDFワールド・ボンド・ファンド(為替ヘッジなし) <input type="checkbox"/> 運用会社：ブラックロック・ジャパン <input type="checkbox"/> 資産運用関係費用(年率) <sup>*1</sup> ：0.528%(税込)程度 <input type="checkbox"/> 円建/残高約16億円	7p
総合型	<b>世界バランス(A)</b> ■ 投資対象となる投資信託：フィデリティ・バランス・ファンドVA2 <input type="checkbox"/> 運用会社：フィデリティ投信 <input type="checkbox"/> 資産運用関係費用(年率) <sup>*1</sup> ：最大年率1.35%(税込)程度 <input type="checkbox"/> 円建/残高約5.8億円	8p
金融市場型	<b>マネー(A)</b> ■ 投資対象となる投資信託：マネー・オープン他 <input type="checkbox"/> 運用会社：大和アセットマネジメント <input type="checkbox"/> 資産運用関係費用(年率) <sup>*1</sup> ：各月ごと <sup>*2</sup> に決定	9p

※残高は2024年11月末現在

\*1 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。  
また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。  
\*2 各月の前月の最終5営業日における無担保コール翌日物レートの平均値に0.55(税込)を乗じて得た率とします。ただし、当該率が年0.99%(税込)を超える場合には、年0.99%(税込)の率とします。

## 特別勘定について

## 基本情報

【特別勘定の設定日】2001年11月1日

【資産分類】日本株式

【運用方針】

日本の株式の中で、将来高い成長が期待できる銘柄を厳選して分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。

【投資対象となる投資信託】

フィデリティ・日本成長株・ファンドVA2

## ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2021年12月31日	240.04	-
2023年12月31日	240.83	-0.16%
2024年1月31日	254.42	5.64%
2月29日	263.42	3.54%
3月31日	272.99	3.63%
4月30日	269.78	-1.18%
5月31日	271.88	0.78%
6月30日	276.75	1.79%
7月31日	274.72	-0.73%
8月31日	263.26	-4.17%
9月30日	260.36	-1.10%
10月31日	260.73	0.14%
11月30日	258.19	-0.97%
12月31日	268.12	3.84%
3ヶ月変化率		2.98%
6ヶ月変化率		-3.12%
1年変化率		11.33%
3年変化率		11.70%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## 投資対象となる投資信託について

## フィデリティ・日本成長株・ファンドVA2の基本情報

【運用会社】フィデリティ投信

【運用対象】日本株式

【ベンチマーク】TOPIX (配当金込)

## 運用状況

## ■市場別構成比 (2024.11末現在)

市場	構成比
東証プライム	95.2%
東証スタンダード	1.4%
東証グロース	0.5%
その他市場	-
現金・その他	2.9%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

## ■上位5業種構成比(2024.11末現在)

業種	構成比
1 電気機器	19.0%
2 銀行業	9.9%
3 輸送用機器	6.9%
4 小売業	6.4%
5 卸売業	6.1%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

## ■組入上位10銘柄 (2024.11末現在)

銘柄名	業種	構成比
1 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	4.4%
2 ソニーグループ	電気機器	4.2%
3 日立製作所	電気機器	3.9%
4 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	3.5%
5 伊藤忠商事	卸売業	3.2%
6 リクルートホールディングス	サービス業	3.1%
7 キーエンス	電気機器	3.0%
8 東京海上ホールディングス	保険業	2.7%
9 信越化学工業	化学	2.4%
10 トヨタ自動車	輸送用機器	2.0%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 174)

## 【運用会社による投資信託へのコメント】 (2024.12末現在)

当月の東京株式市場は、日米の金融政策を巡る思惑に左右される展開が続きましたが、年末にかけては自動車業界における経営改善期待などを背景に上昇しました。

年金積立金管理運用独立行政法人が運用利回りを引き上げるとの報道を受け、株式需要が高まるとの期待から買いが先行して始まり、米国経済の堅調さを背景に米連邦準備制度理事会 (FRB) による追加利下げが見込まれ、米国株の高値更新が続いたことも支えとなり、底堅い推移がしばらく続きました。月半ば頃からは米国で利下げ観測がやや後退し、日米の金融政策決定会合を控えて値上がりが重なる中、FRBが3会合連続で0.25%の利下げを決めた一方、2025年の利下げを慎重に進める見通しを示すと、米国株と共に日本株も下げ幅を広げました。しかし、日銀が政策金利の据え置きを決定し、植田総裁が追加利上げに慎重な姿勢を見せると、円安が進行し、日本株は反発しました。年末にかけては、経営統合や大型自社株買いなどの発表を受け、自動車株が主導する形で上昇幅を広げました。

月間の騰落率は、TOPIX (配当込) が+4.02%、日経平均株価は+4.41%でした。

・当資料は、投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報と東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# 日本株式 (B)

(2024年12月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2001年11月1日

【資産分類】日本株式

【運用方針】

日本の上場株式および店頭登録株式の中から、取得時にPERおよびPBR等の指標または株価水準からみて割安と判断され、今後株価の上昇が期待される銘柄に投資します。

【投資対象となる投資信託】

ダイワ・バリュー株・オープンVA (底力VA)

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2021年12月31日	159.32	-
2023年12月31日	202.13	-0.58%
2024年1月31日	217.52	7.61%
2月29日	229.86	5.67%
3月31日	243.74	6.04%
4月30日	243.79	0.02%
5月31日	245.48	0.69%
6月30日	250.67	2.12%
7月31日	249.10	-0.63%
8月31日	241.43	-3.08%
9月30日	240.86	-0.24%
10月31日	243.70	1.18%
11月30日	245.52	0.75%
12月31日	253.61	3.29%
3ヶ月変化率		5.29%
6ヶ月変化率		1.17%
1年変化率		25.46%
3年変化率		59.17%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	29	1.7%
有価証券等		
ダイワ・バリュー株・オープンVA (底力VA)	1,685	98.3%
その他	-	-
資産合計	1,714	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	1,714	100.0%

## 投資対象となる投資信託について

### ダイワ・バリュー株・オープンVA (底力VA) の基本情報

【運用会社】大和アセットマネジメント

【運用対象】日本株式

【ベンチマーク】TOPIX

### 運用状況

#### ■資産構成比率 (2024.12末現在)

資産	構成比
国内株式	97.1%
国内株式先物	-%
国内合計	97.1%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■上位5業種構成比 (2024.12末現在)

業種	構成比
1 電気機器	12.4%
2 銀行業	11.4%
3 機械	7.8%
4 輸送用機器	7.5%
5 情報・通信業	6.9%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■組入上位10銘柄 (2024.12末現在)

銘柄名	構成比
1 東京海上HD	4.3%
2 三井住友フィナンシャルG	3.9%
3 三菱UFJフィナンシャルG	3.9%
4 日立	3.5%
5 トヨタ自動車	3.4%
6 小松製作所	3.1%
7 住友電工	2.8%
8 日本電気	2.8%
9 三菱商事	2.6%
10 LINEヤフー	2.1%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

(銘柄数 117)

#### 【運用会社による投資信託へのコメント】 (2024.12末現在)

<株式市況> 国内株式市場は上昇しました。米利下げ期待の高まりによる米国株の上昇や、日銀の利上げ見送り報道等を好感し上昇して始めると、月半ばにかけては、中国共産党による金融緩和と財政支出拡大方針を受けて、堅調に推移しました。その後は、米FOMC (連邦公開市場委員会) や日銀金融政策決定会合を前に手控えムードが広がったものの、円安やトヨタ自動車のROE目標引き上げなどが好材料となり、自動車株が上昇をけん引しました。  
<運用経過> ポートフォリオの構築に際しては、日米の政策の動向を勘案しつつ、次期に向けた業績の回復や好調な業績の継続性などに注目して銘柄を入れ替えました。また、自己株式の取得や配当金の増額などの株主還元を通じて、資本効率の改善が期待される銘柄に注目をしました。具体的には、価格転嫁の進展による業績回復に加えて、環境に対応した高付加価値製品の拡大が中期的成長に寄与すると期待した素材関連株や、半導体向け高機能部材事業などの成長に注目した化学関連株などのウエートを引き上げました。一方で、海外事業の回復が想定よりも遅れる可能性が高まった食品関連株や、日銀の金融政策を受けて業績への警戒感が高まった不動産関連株などのウエートを引き下げました。また、次期業績成長の見通しや株主還元の安定性、株価水準を考慮して、自動車関連株の入れ替えとウエートを見直しました。このような売買や株価変動により、業種構成では輸送用機器、電気機器、ガラス・土石製品などの比率が上昇し、食料品、金属製品、その他製品などの比率が低下しました。

・当資料は、投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほか保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があります。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報と東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 特別勘定について

## 基本情報

【特別勘定の設定日】2001年11月1日

【資産分類】日本株式

【運用方針】

日本の証券取引所上場株式を主要投資対象とします。ボトムアップアプローチを基本とし、各種投資指標から判断して割高と判断される銘柄を除外して投資します。

【投資対象となる投資信託】

ダイワ・ジャパン・オープンVA (D.J.オープンVA)

## ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2021年12月31日	183.18	—
2023年12月31日	190.26	0.84%
2024年 1月31日	202.64	6.51%
2月29日	216.70	6.94%
3月31日	226.28	4.42%
4月30日	218.88	-3.27%
5月31日	225.11	2.85%
6月30日	232.43	3.25%
7月31日	228.17	-1.83%
8月31日	223.68	-1.97%
9月30日	221.59	-0.93%
10月31日	225.40	1.72%
11月30日	225.55	0.06%
12月31日	232.14	2.92%
3ヶ月変化率		4.76%
6ヶ月変化率		-0.12%
1年変化率		22.01%
3年変化率		26.73%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	12	4.0%
有価証券等		
ダイワ・ジャパン・オープンVA (D.J.オープンVA)	310	96.0%
その他	—	—
資産合計	323	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	323	100.0%

## 投資対象となる投資信託について

## ダイワ・ジャパン・オープンVA (D.J.オープンVA) の基本情報

【運用会社】大和アセットマネジメント

【運用対象】日本株式

【ベンチマーク】TOPIX

## 運用状況

## ■資産構成比率 (2024.12末現在)

資産	構成比
国内株式	97.5%
国内株式先物	—%
国内合計	97.5%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

## ■上位5業種構成比 (2024.12末現在)

業種	構成比
1 電気機器	28.0%
2 情報・通信業	9.0%
3 化学	8.9%
4 その他製品	8.1%
5 サービス業	7.7%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

## ■組入上位10銘柄 (2024.12末現在)

銘柄名	構成比
1 リクルートホールディングス	7.0%
2 ソニーグループ	6.7%
3 キーエンス	5.1%
4 任天堂	4.2%
5 日立	3.7%
6 信越化学	3.7%
7 住友電工	3.6%
8 アドバンテス	3.4%
9 アシックス	3.0%
10 富士通	2.9%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

(銘柄数 69)

## 【運用会社による投資信託へのコメント】 (2024.12末現在)

12月の国内株式市場は上昇しました。米利下げ期待の高まりによる米国株の上昇や、日銀の利上げ見送り報道等を好感し上昇して始めると、月半ばにかけては、中国共産党による金融緩和と財政支出拡大方針を受けて、堅調に推移しました。その後は、米FOMC (連邦公開市場委員会) や日銀金融政策決定会合を前に手控えムードが広がったものの、円安やトヨタ自動車のROE目標引き上げなどが好材料となり、自動車株が上昇をけん引しました。

ベンチマークと比較して、業種では、電気機器のオーバーウエートなどはプラスに寄りましたが、輸送用機器のアンダーウエートや化学のオーバーウエートなどがマイナス要因となりました。個別銘柄では、堅調な業績推移が続いている半導体関連銘柄や人材サービス関連銘柄などがプラスに寄りましたが、事業環境の先行きに対する警戒感が強まった化学関連銘柄や医薬品関連銘柄などはマイナス要因となりました。

・当資料は、投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほか保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報と東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社が一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# 世界株式 (A)

(2024年12月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2001年11月1日  
【資産分類】外国株式  
【運用方針】  
日本を除く世界主要国の株式に分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。原則として為替ヘッジは行いません。  
【投資対象となる投資信託】  
大和住銀/T.ロウ・プライス外国株式ファンドVA

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比	円/ドル
2021年12月31日	439.46	-	115.02
2023年12月31日	475.09	0.76%	141.83
2024年 1月31日	500.04	5.25%	147.55
2月29日	535.55	7.10%	150.67
3月31日	558.56	4.30%	151.41
4月30日	560.95	0.43%	156.90
5月31日	574.33	2.39%	156.74
6月30日	610.23	6.25%	161.07
7月31日	551.57	-9.61%	152.44
8月31日	541.89	-1.75%	144.80
9月30日	546.43	0.84%	142.73
10月31日	579.77	6.10%	153.64
11月30日	578.03	-0.30%	150.74
12月31日	603.83	4.46%	158.18
3ヶ月変化率		10.51%	
6ヶ月変化率		-1.05%	
1年変化率		27.10%	
3年変化率		37.40%	

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	32	2.0%
有価証券等		
大和住銀/T.ロウ・プライス 外国株式ファンドVA	1,624	98.0%
その他	-	-
資産合計	1,656	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	1,656	100.0%

## 投資対象となる投資信託について

### 大和住銀/T.ロウ・プライス外国株式ファンドVAの基本情報

【運用会社】三井住友DSアセットマネジメント  
投資顧問：ティール・ロウ・プライス・アソシエイツ・インク  
【運用対象】日本を除く世界各国の株式  
【ベンチマーク】MSCIコクサイ・インデックス (円換算)

### 運用状況

#### ■地域別内訳 (2024.12末現在)

地域別	ポートフォリオ構成比
西欧	18.0%
東欧	0.0%
中東	0.0%
アフリカ	0.0%
北米	69.8%
中米	0.8%
南米	0.0%
アジア	9.0%
オセアニア	0.0%
その他	0.0%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■業種別内訳 (2024.12末現在)

セクター	構成比
エネルギー	5.1%
素材	1.7%
資本財・サービス	5.4%
一般消費財・サービス	13.0%
生活必需品	5.9%
ヘルスケア	9.2%
金融	19.0%
情報技術	31.2%
コミュニケーション・サービス	6.1%
公益事業	1.1%
不動産	0.0%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■組入上位10銘柄 (2024.12末現在)

銘柄	国名	業種	構成比
1 ELI LILLY & CO	アメリカ	ヘルスケア	4.7%
2 MICROSOFT CORP	アメリカ	情報技術	4.7%
3 AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス	4.2%
4 NVIDIA CORP	アメリカ	情報技術	4.1%
5 APPLE INC	アメリカ	情報技術	3.7%
6 TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	台湾	情報技術	3.5%
7 META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	コミュニケーション・サービス	3.4%
8 CONOCOPHILLIPS	アメリカ	エネルギー	3.2%
9 UNILEVER PLC	イギリス	生活必需品	2.9%
10 LONDON STOCK EXCHANGE GROUP	イギリス	金融	2.4%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 68)

#### 【運用会社による投資信託へのコメント】 (2024.12末現在)

2024年は多くの不確実性の高い事象から、米国の限られた大型株が主導した相場でした。2025年は、逆にこれらの大型株のバリュエーション（投資価値評価）の高さを懸念しています。いわゆるマグニフィセント7（アルファベット、アップル、メタ、プラットフォームズ、アマゾン、ドットコム、マイクロソフト、エヌビディア、テスラの銘柄群）各社は将来の成長につながるか不確実な投資を行っており、今後収益性が悪化する可能性があります。また、FRB（米連邦準備制度理事会）による継続的な利下げの可能性も、ここまでのインフレ動向により一旦様子見になる可能性があります。また中国の経済動向にも注意が必要です。仮に中国経済が復調するとすれば、米国のインフレに悪影響を与える可能性があり、その際には米国株が売られる可能性があります。

・当資料は、投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があります。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# 世界債券 (A)

(2024年12月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2001年11月1日

【資産分類】世界債券

【運用方針】

日本を含む世界主要国の国債等（国債、政府機関債、国際機関債）を中心に公社債に投資を行い、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。投資する公社債は、取得時において投資適格または同等の信用力を有するものとします。原則として為替ヘッジは行いません。

【投資対象となる投資信託】

JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジなし）

### ■ユニットプライスの推移



(円/ドルの為替レートは、6ページに掲載しています)

	ユニットプライス	前月比
2021年12月31日	118.44	-
2023年12月31日	118.63	0.42%
2024年1月31日	120.08	1.22%
2月29日	121.20	0.93%
3月31日	122.38	0.97%
4月30日	123.82	1.18%
5月31日	123.93	0.09%
6月30日	127.44	2.83%
7月31日	123.29	-3.26%
8月31日	120.29	-2.43%
9月30日	120.31	0.02%
10月31日	124.53	3.51%
11月30日	121.98	-2.05%
12月31日	125.06	2.53%

3ヶ月変化率 3.95%

6ヶ月変化率 -1.87%

1年変化率 5.42%

3年変化率 5.59%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	13	2.5%
有価証券等		
JDFワールド・ボンド・ファンド (為替ヘッジなし)	508	97.5%
その他	-	-
資産合計	521	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	521	100.0%

## 投資対象となる投資信託について

### JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジなし）の基本情報

【運用会社】ブラックロック・ジャパン

【運用対象】日本を含む世界主要国の信用力の高い公社債

【ベンチマーク】FTSE世界国債インデックス（円ベース）

### 運用状況

#### ■国別通貨別構成比率（2024.12末現在）

	ベンチマーク	債券	通貨
米国	42.6%	36.9%	38.5%
カナダ	1.8%	2.5%	1.8%
メキシコ	0.7%	0.9%	0.7%
南アフリカ	-	-	0.0%
日本	10.0%	11.1%	9.8%
オーストラリア	1.1%	1.2%	1.1%
ニュージーランド	0.2%	-	0.2%
シンガポール	0.3%	0.5%	0.6%
中国	10.2%	10.5%	18.4%
マレーシア	0.5%	0.5%	0.5%
ユーロ	26.7%	28.6%	24.2%
英国	4.7%	8.0%	3.1%
デンマーク	0.2%	0.3%	0.3%
スウェーデン	0.1%	0.3%	0.2%

#### ■組入上位10銘柄（2024.12末現在）

銘柄名	利率	償還年月日	構成比
1 アメリカ国債	4.00%	2029/7/31	7.0%
2 アメリカ国債	4.125%	2026/10/31	5.0%
3 日本国債	0.100%	2031/9/20	3.8%
4 アメリカ特殊債	6.00%	2025/1/14	2.2%
5 アメリカ国債	3.375%	2033/5/15	2.1%
6 フランス国債	2.750%	2029/2/25	2.0%
7 ドイツ国債	2.600%	2034/8/15	1.9%
8 アメリカ国債	4.375%	2034/5/15	1.9%
9 日本国債	0.600%	2033/12/20	1.9%
10 日本国債	0.005%	2025/4/1	1.6%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合（銘柄数 209）

修正デュレーション=平均6.74年（ベンチマーク=同6.89年）

・当資料は、投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があります。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報と東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。



# 世界バランス (A)

(2024年12月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

- 【特別勘定の設定日】2001年11月1日
- 【資産分類】バランス
- 【運用方針】日本を含む世界各国の株式、債券、短期金融商品に分散投資を行います。原則として為替ヘッジは行いません。
- 【投資対象となる投資信託】フィデリティ・バランス・ファンドVA2

### ■ユニットプライスの推移



(円/ドルの為替レートは、6ページに掲載しています)

ユニットプライス	前月比	
2021年12月31日	160.54	-
2023年12月31日	172.64	0.53%
2024年1月31日	178.46	3.37%
2月29日	182.91	2.50%
3月31日	188.00	2.78%
4月30日	187.79	-0.11%
5月31日	190.09	1.22%
6月30日	196.49	3.37%
7月31日	190.82	-2.89%
8月31日	188.15	-1.40%
9月30日	189.61	0.78%
10月31日	194.25	2.45%
11月30日	192.53	-0.88%
12月31日	197.18	2.41%
3ヶ月変化率	3.99%	
6ヶ月変化率	0.35%	
1年変化率	14.22%	
3年変化率	22.83%	

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	17	3.0%
有価証券等		
フィデリティ・バランス・ファンドVA2	584	97.0%
その他	-	-
資産合計	602	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	602	100.0%

## 投資対象となる投資信託について

### フィデリティ・バランス・ファンドVA2の基本情報

- 【運用会社】フィデリティ投信
- 【運用対象】日本を含む世界各国の株式、債券、短期金融商品
- 【ベンチマーク】複合インデックス (円ベース)
  - TOPIX (配当金込) (25%)
  - MSCIワールド・インデックス (除く日本/税引前配当金込) (25%)
  - ブルームバーグ・グローバル総合インデックス (為替ヘッジなし、円ベース) (50%)

### 運用状況

#### ■株式 (2024.11末現在)

組入投資信託証券	構成比
フィデリティ・ジャパン・サステナブル・グロース・ファンド (適格機関投資家専用)	26.4%
フィデリティ・ファンズ・アメリカン・グロース・ファンド	23.9%
フィデリティ・ファンズ・ヨーロッパ・ダイナミック・グロース・ファンド	0.9%
フィデリティ・ファンズ・アジア・パシフィック・オポチュニティーズ・ファンド	0.5%
フィデリティ・ファンズ・ヨーロッパ・スモラー・カンパニーズ・ファンド	0.2%
フィデリティ・ファンズ・サステナブル・アジア株式ファンド	0.2%
合計	52.1%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■組入上位5ヶ国・地域 (2024.11末現在)

国名	構成比
1 アメリカ	48.2%
2 日本	27.0%
3 ドイツ	9.3%
4 イギリス	4.5%
5 中国	2.3%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■債券・短期金融資産等 (2024.11末現在)

組入投資信託証券	構成比
フィデリティ・インスティテュショナル・グローバル・ボンド・ファンド (除く日本円、為替ヘッジなし、適格機関投資家販売制限付き)	45.8%
iシェアーズ・コア 日本国債 ETF	1.0%
合計	46.8%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■組入上位5通貨 (2024.11末現在)

通貨	構成比
1 アメリカ・ドル	55.1%
2 日本・円	27.0%
3 ユーロ	9.9%
4 イギリス・ポンド	3.7%
5 中国・元	2.2%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

・当資料は、投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除しているからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報と東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## ● 特別勘定について

## 基本情報

【特別勘定の設定日】2001年11月1日

【資産分類】短期金融商品

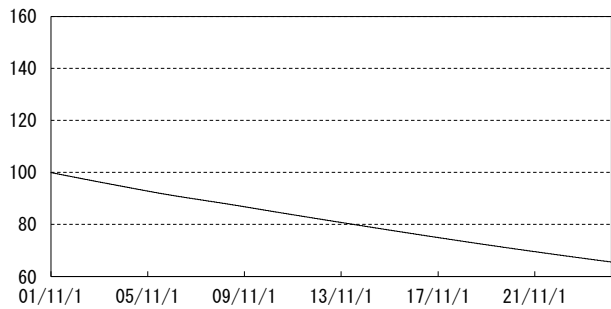
【運用方針】

円建ての短期金融商品を中心に投資します。流動性に十分配慮し、リスクを抑えた安定的な運用を行います。

【投資対象となる投資信託】

マナー・オープン 他

## ■ ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2021年12月31日	69.35	—
2023年12月31日	66.81	-0.16%
2024年 1月31日	66.71	-0.16%
2月29日	66.61	-0.15%
3月31日	66.51	-0.16%
4月30日	66.41	-0.15%
5月31日	66.30	-0.16%
6月30日	66.20	-0.15%
7月31日	66.10	-0.16%
8月31日	66.00	-0.15%
9月30日	65.89	-0.16%
10月31日	65.79	-0.16%
11月30日	65.69	-0.15%
12月31日	65.59	-0.15%
3ヶ月変化率		-0.46%
6ヶ月変化率		-0.92%
1年変化率		-1.83%
3年変化率		-5.43%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## ■ 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	128	34.1%
有価証券等		
マナー・オープン	248	65.9%
その他	—	—
資産合計	377	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	377	100.0%

## ● 投資対象となる投資信託について

## マナー・オープン 他の基本情報

【運用会社】大和アセットマネジメント

【運用対象】円建て短期金融商品

【ベンチマーク】特に定めなし

・当資料は、投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。

・投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。

・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。

・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があります。

・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。

・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 投資リスクについて

この商品は、将来受け取る年金額、解約払戻金額、死亡保険金額等が特別勘定の運用実績に基づいて増減するしくみの生命保険です。特別勘定は投資信託を通じて国内外の株式・債券等に投資されますので、この商品には価格変動リスク・為替変動リスク・信用リスク・金利変動リスク等の投資リスクがあります。そのため、株価や債券価格の下落・為替の変動等により、年金、解約払戻金等のお受け取り金額が、お支払いいただいた保険料の合計額を下回る可能性があります。

## ご負担いただく費用について

### ■運用期間中の費用（すべてのご契約者にご負担いただく費用）

項目	費用
保険関係費用(保険契約管理費)	特別勘定の純資産総額に対して年率1.85%
資産運用関係費用* (資産運用管理費)	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して上限年率1.485%(税込)程度 各特別勘定により異なります。詳しくは、P.2の目次をご覧ください。

### ■お取引の内容による費用（特定の取引のご契約者にご負担いただく費用）

項目	適用	費用
積立金移転費用	1保険年度12回を超える積立金の移転の際	1保険年度に12回までの移転…無料 1保険年度に12回を超える移転…1回につき1,000円
契約者貸付利息	契約者貸付を受けたとき	貸付金額に対して年率1.85%
解約控除	解約するとき	積立金額に対して7%～1%(経過年数に応じて)
	減額するとき	減額に相当する積立金額に対して7%～1%(経過年数に応じて)

### ■年金支払期間中の費用（将来、以下の内容が変更になることがあります）

#### ●保証期間付終身年金、確定年金の場合

項目	適用	費用
保険関係費用(年金管理費)	当保険の維持管理等に必要な費用	年金額に対して1.0%以内 (毎年の年金支払日に責任準備金から控除します)

#### ●特別勘定年金の場合

項目	適用	費用
保険関係費用 (年金管理費)	特別勘定年金の維持管理等に必要な費用(基本保険金額を最低保証するための費用および災害死亡保険金などの費用を除きます)	特別勘定の純資産総額に対して年率1.17%
資産運用関係費用* (資産運用管理費)	保険関係費用(年金管理費)以外で、特別勘定の運用に係わる費用として支払われます。	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して上限年率1.485%(税込)程度 各特別勘定により異なります。詳しくは、P.2の目次をご覧ください。

### ■ご負担いただく費用の合計額について

この商品にかかる費用の合計額は、上記「保険関係費用」、「資産運用関係費用」の合計額となります(ただし、一定期間内の解約については「解約控除」、積立金の移転が1保険年度12回を超えた場合には「積立金移転費用」等が別途かかりますのでご注意ください)。

\*資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

## ご注意いただきたい事項

- 「投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)」は東京海上日動あんしん生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険(変額個人年金保険)です。
- 「投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)」には投資リスクがあり、投資リスクはご契約者に帰属します。場合によっては将来お受け取りになる金額が、払込保険料総額を下回る可能性があります。

【募集代理店】

# 大和証券

Daiwa Securities

【引受保険会社】

# 東京海上日動あんしん生命保険株式会社

ホームページ <https://www.tmn-anshin.co.jp/>

ご契約内容・各種手続きに関するお問合せ

 **0120-155-730**

受付時間 平日9:00～17:00  
(土曜・日曜・祝日・年末年始を除きます。)